

獄 中 記

<福山辰夫>

第十三回

皇紀 2654 年【平成 6 年・西暦 1994 年】

8月11日(木)

7月分の賞与金教示有り。「9等工」=902円也。尚、本日より入浴日以外は、終業後に浴場で1分間の『シャワー浴』(*別途、中止の指示が出る迄の間)を実施。ただ、昨年迄は一切なかった処遇で、所長等が変わると間々ある事。今回は「所長裁量」での指示かは分らないが、入浴日は良いとしても、終日作業を行い、運動して汗ばんだ体で還房したところで、夕餉後の拭身(*しきしん=洗面器に水を張り、タオルを濡らして絞り身体を拭う行為。基本各人が洗面器一杯のみ)で水道水の使用量を考えると、節水にもなり料金にも反映するのではなかろうか。

8月13日(土)

お盆の連休(初日)。朝餉後の午前9時30分から11時30分迄、テレビVTR視聴有り。

『ハード・トゥ・キル』 (製作:米国。配給:ワーナーブラザーズ。1990年日本公開。

出演:スティーブン・セガール。監督:ブルース・マルムース)

ある上院議員の殺人依頼現場を撮影したメイソン・ストーム(スティーブン・セガール)刑事だが、それを知った議員は、すぐさまメイソンを殺しにかかる。妻は殺され、またメイソンも全身に銃弾を浴びるが、奇跡的に生還。しかし、意識が戻らないまま7年の時が流れ、意識を取り戻したメイソンは、妻を殺した者達への復讐を誓う。「沈黙シリーズ」のセガールとは、また別の顔を見せるストーリーで良い。

午後は、『論語』を学習。夜の19時から20時55分迄、テレビ視聴を行う。

8月14日(日)

お盆の連休(2日目)。今日も午前中は9時30分から11時30分迄、テレビ視聴有り。但し、一般のテレビ放送の為、小机に向かい勉強及び読書に勤しむ。昼餉後の、午睡時間(13時から15時)も勉強に勤しむ。夜は19時から20時55分迄、テレビ視聴。21時に就寝。

8月15日 (月)

お盆の連休 (3日目)。「総集行事」として、午前9時30分から11時30分迄はテレビVTR視聴有り。『夜逃げ屋本舗2』(製作:日本。配給:東宝。1993年公開。出演:中村雅俊、益岡徹、高木美保、風間杜夫、松居一代、中山忍、細川俊之ほか。監督:原隆仁)。社会派痛快コメディの第二弾で、前作同様に主演は中村雅俊。今回は「自己破産」をテーマに、夜逃げ屋稼業を復活させる。

午後の「午睡時間」は、横臥しながらの読書。夕方の余暇時間(17時10分から19時)は、小机に向かい勉強に勤しむ。夜は、通常のテレビ視聴を行う。

8月16日 (火)

お盆の連休 (4日目)。9時30分から11時30分迄、14日と同様に一般のテレビ放送の為、読書を行う。午後は、午睡中に読書。夕方の余暇時間は、『論語』を学習。夜は通常のテレビ視聴を行い、就寝。

8月17日 (水)

お盆の連休 (最終日)。午前中は、テレビVTR視聴(9時30分から11時30分)有り。

『ナビゲーター』(製作:米国。配給:東宝東和。1986年日本公開。出演:ジョーイ・クレイマー、ヴェロニカ・カートライトほか。監督:ランダル・クレイザー)。

行方不明になっていた少年が、8年を経ても全く成長しないまま発見された。時を同じくしてアメリカ航空宇宙局(NASA)で調査されていた、謎のUFOを巡るSFファンタジーもの。同部屋の者らは口を揃えて「面白かった」というが、小生的にはイマイチ。

午後からの午睡は、横臥しながらの読書。夕方の余暇時間は『論語』を学習。夜は通常のテレビ視聴を行い、就寝。また、明日から工場では、只管「平ミシン」を踏むのみ也。

8月20日 (土)

休業日。朝餉後、『盂蘭盆法要』(9時30分から10時30分)が講堂にて催され、同部屋の者らと出席。本日は、仙台市内にある臨済宗妙心寺派「少林山保春院」副住職、臨済宗東福寺派「當午山満勝寺」住職ら複数の僧侶による読経。読経中、職員の指示で出席者全員が焼香台にて焼香。その後30分間は、僧侶の法話を拝聴する。

『盂蘭盆』(うらぼん)とは、サンスクリット語の「ウランバナ」(ulambana)に漢字を充てたもので、仏教における『盂蘭盆経』(うらぼんきょう)に説いている「目連救母」伝説が由来である。

お釈迦様の十大弟子で、神通第一と称される目連尊者は、亡き母親の行方を神通力によって探すと、「餓鬼道」に堕ちているのを見つけた。「餓鬼道」とは、常に飢えと渇きに苦しむ餓鬼の世界であり、

三界のうち欲界に属する。母親は生前の面影もなく、その身は瘦せ衰え、骨ばかりで地獄の様な苦しみを得ていた。喉を枯らし飢えていた母親に、目連は神通力で水や食べ物を差し出すも、悉く口に入る直前に炎となってしまう為、母親は食べる事が出来ない。

目連は「なんとかして母親を救う手だてはないですか」と、お釈迦様に問うと、「お前の母の罪はとても重い。生前は人に施すことをせず、自分勝手な振る舞いをしていたので餓鬼道に堕ちた。その母を救いたければ、多くの僧が九十日間の雨季の修行を終える七月十五日に、御馳走を用意して経を誦し、心から供養しなさい」と言った。目連が早速その通りにすると、母親は餓鬼の苦しみから救われた。 というもので、『盂蘭盆会』（うらぼんえ）や『お盆』も同じ意。

午後の午睡時間は、横臥しながらの読書。途中、舎房前の廊下に於いて「刈り」が有る。

8月22日(月)

先日、『検眼願』（医療課長宛）の願箋を提出していたところ、忘れた頃に呼び出しがあり、眼鏡レンズを私費にて購入。「ガラス製眼鏡レンズ」（左右セット）＝13,390円也。既に、『領置金使用願』と『眼鏡レンズ購入願』（医療課長・会計課長宛）の願箋は提出、支払い済み。

そして、新たにレンズの入った眼鏡フレームが、本日手元に届く。眼鏡2ケの所持許可も下りている故、「遠近用」として工場と舎房で使い分けが出来る。それにしても、一段と近視と乱視が進んで、レンズの厚みが牛乳瓶の底のように分厚くなってしまった。

8月26日(金)

工場定期私本配布日にて、購入の週刊誌1冊。

また、月末の金曜日の為、領置下付として『史記 - 男はいかに生くべきか』（渡部昇一／小室直樹・プレジデント社）、『天皇と日本を起源から考える - 別冊歴史読本[1993年・夏号]』（新人物往来社）、『広辞苑』（新村出[編]・岩波書店）の3冊が手元に届く。

8月29日(月)

父宛に『面会宅下げ願』（会計課長宛）の願箋を提出。宅下げ品目は、読了した私本。

9月3日(土)

午前9時30分から10時30分迄、宗教教誨『神道』に出席。本日の教誨師は、坂本寿郎先生で「仏教の伝来と神道」と題する講話を拝聴する。

「蘇我氏と物部氏の争い～同化と共存～明治には神仏分離～現代の世界宗教会議と神道の歩み」について。また「水と米に対する信仰」として、神の定義とは「我々を産んで生かし育て伸ばしてくれるもの」であり、稲作りとは日本人の精神構造の基で【天の恩・地の恩・人の恩】という。

だから、天地自然及び祖先に対する畏敬の心が大切なのである。午後からの午睡は、横臥しながらの読書。夕方の余暇時間は、『論語』を学習。夜は通常のテレビ視聴。21時、就寝。

9月10日(土)

午後の午睡時は、読書。途中、舎房前の廊下で「刈り」が有り。

9月12日(月)

工場に出役し、私費通信教育課程・圖南書道『平成6年度後期学習生』の受講許可が下りたので、受講料(6ヶ月分)=3,600円を支払う為、『受講料支払願』(教育主席・会計課長宛) + 『領置金支払願』の願箋を記載して提出する。

9月13日(火) 乃木大将殉死

本日は遡る事。大正元年(1912年)9月13日、明治大帝の『大喪の礼』が行われた日の20時頃、乃木希典陸軍大将は妻の静子と共に自刃して亡くなった。それは、明治大帝の崩御に殉ずる死であったという。工場作業中に、8月分の賞与金教示有り。「9等工1割増」=1,942円也。

9月15日(木) 敬老の日

昼餉時に、祝日菜として「ドーナツ」(2ヶ)が給与される。

また、13時から14時迄の午睡時間は、読書。夕方の余暇は、勉学に勤しむ。

9月17日(土)

朝餉後、職員の「繰り込み準備」の合図で、速やかに用便等を済ませて出房。

立会職員の指示に従い、舎房ごとに講堂へと移動。午前9時30分から10時30分迄、『秋の彼岸会』が催される。真宗大谷派の僧侶による「仏説阿弥陀経」が読経される中、出席者全員がステージ下に設置された焼香台にて焼香。その後は30分間、僧侶の法話を拝聴する。

本日の話は、真宗大谷派の今年(*平成6年)のポスターの題名が「イノベーター上人がやってきた」にしたとの事。これは、昨今に於いて『イノベーション』という言葉をよく耳にするが、その意味としては「革新・刷新」。つまり、これまでとは異なった新しい発展をするというもので、私達の仏教界はもとより、世の中の刷新をも併せて謳っているという。

飽く迄もこれは私見だが、世紀末が近づくに及び、今迄の価値観もすっかりと変わりつつある。そして、至る所で制度疲労が起きているというのも事実ではないか。正に、時代の過渡期である今こそ、その趨勢は「平成維新断行」へと向かわねばならない。

午後は、午睡をしながらの読書。夕餉後の余暇は、『論語』を学習する。

9月19日(月) 糸瓜忌

免業日明けにて気乗りがしないが、終日「ミシン縫製作業」に従事する。
夕餉後の余暇は、『論語』を学習。19時から20時55分迄、テレビ視聴。

9月23日(金) 秋分の日

彼岸の中日也。午前中は、読書。

尚、昼餉時に『祝祭日菜』として「おはぎ」(1ヶ)の支給有り。午後は、午睡時に読書。

夕餉後の余暇は、『論語』を学習。19時から20時55分迄、テレビ視聴を行う。21時、就寝。

9月27日(火)

5月に【担当抗弁事犯】で懲罰を受けた件で、一般学習として受講していた『私費通信教育・
圖南書道』の受講許可が取り消される。その際、書道道具一式を強制的に領置させられたが、先
の『平成6年度後期一般学習』申し込みで圖南書道の受講許可が下りる。

そして、『特別下付願』(教育課長・会計課長宛)で願い出っていた書道道具一式の下付有り。但し、
受講許可が10月1日付からという事で、工場担当の菅野看守部長に「今日は舎房には入れないので、一旦
工場で預かる」と言われ撃沈。真面目に書道に取り組んでいた故、今後は多少の事で短
気を起こす事無く、落ち着いた生活をせねば…。

9月28日(水)

平日も、『宮城刑務所運動会』が催される。ただ、朝は通常通りに出役をし、1時間の作業を行
う。担当の「作業止め」の号令で、9時から貸与された官給の「パンツ・丸首半袖シャツ・トレ
パン」に順次着替え、工場の食堂に入り待機。警備隊の無線に「12工場お願いします」と連絡が
入り、工場担当の指示でグラウンドへと移動。9時40分、『運動会』開始。

工場区の受刑者が各分区ごとにグラウンドに整列し、所長及び来賓の挨拶。続いて1級生ら4
名による国旗掲揚。優勝旗と優勝盾の返還(*昨年度は、6分区)。参加受刑者を代表して1級生1
名が、大会主催者である所長に「選手宣誓」。全員が片手間隔で拵がり「ラジオ体操第一」を行い、
再び整列して各分区ごとにブルーシートが敷かれた観覧席へ。愈々、競技開始。

グラウンドには万国旗が飾られ、運動会らしい音楽が流れてくる。前の13工場では「結核性胸
膜炎」で左肺を患い、長期間休養していた故に、完治したとはいえ競技等の出場は一切断ってい
た。勿論、今年もそのつもりであったが、工場の立ち役(*指導工・班長等)で、同房のAさん(塩
釜市住人)に「分區別対抗リレー」の面子が揃わないと頼まれ、致し方なく出場を許諾。然し、普
段の運動時でも碌に走り込みをしていない為、もうぶっつけ本番で行くしかない。

競技は「1周競争」(*徒競走)で始まり、早々と出場者・応援側共にヒートアップしている。

幾つかの競技終わると、小生が出場する「分區別対抗リレー・予選」だ。第二走者で走り、予選は1位通過で決勝へ。競技半ば頃に、「コカ・コーラ」と「ゼリー」の給与有り。また、幾つかの競技と「工場別応援合戦」を挟み、最終競技となる「分區別対抗リレー・決勝」。

予選同様第二走者として出走。だが、出走者4人共に予選を通過したい気持ちから、力を出し切ってしまいヘトヘトで4組中3位。結局、優勝は「1分区」(*1工・2工連合軍)。

準優勝が「8分区」(*10工・13工連合軍)となり、3位というこの雪辱は来年に持ち越しとする。

全競技が終了し、閉会式。各分区の成績、応援合戦の結果が発表され表彰。観覧席に戻り、グラウンドで昼餉となり「焼肉弁当」を皆で食べる。

昼餉後は、速やかに還工して舎房着に着替える。着替えが済むと工場毎に順次還房。以降は、余暇時間となる。14時頃、恒例の「袋菓子」(*詰合せ)が給与され、喫食。それにしても、出走前の緊張と久し振りに全力で走った所為か、どっと疲れが出る。

9月30日(金)

還房後は、工場定期私本配布日に付き、私費購入の週刊誌1冊。また、月末なので領置本下付が有り。『孫子 - 男子戦わずして勝つべし』(会田雄次/岡本隆三/草森紳一ほか・プレジデント社)

『頭にやさしい雑学読本① - ちょっと意外ないい話』(竹内均[編]・同文書院)の2冊が手元に届く。また27日(火)、特別下付をして、工場担当預かりになっていた書道道具一式が舎房に入る。

10月1日(土)

昨夕に書道道具が入ったので、午前中は「臨池」に勤しむ。4ヶ月ぶりに筆を執り、気持ちが落ち着く感有り。現在、圖南書道會の漢字部で「準段」。年明けに行われる昇位試験では「初段」を目指す。尚、途中で「刈り」の為、舎房前の廊下で同囚に刈って貰う。

午後は、午睡時に読書。夕方の余暇は、『論語』を学習し、夜はテレビ視聴行う。

10月3日(月)

10月1日付けで『3級』に復旧。

工場食堂で、処遇部門第二統括第二主任の熊谷主任より「言い渡し」を受け、直ぐに計算工が用意していた「3級バッチ」(*宮刑=黄色)を作業帽左脇に付ける。復旧とはいえど、4級の儘だと如何にも新入りの様で恥ずかしい。工場担当の菅野看守部長に、担当台へ呼ばれ「**今後は、再び階級降下にならないように自重した生活を送り、1日でも早く2級になれるように努力する事**」と訓示を受ける。確かに、大人の社会で生きる為には、我慢が最も肝要也。